

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 2991000015 | | |
| 法人名 | メイカル・ケア・サービス関西株式会社 | | |
| 事業所名 | 愛の家グループホーム香芝 (青空ユニット) | | |
| 所在地 | 奈良県香芝市五位堂 1丁目341-1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年12月21日 | 評価結果市町村受理日 | 平成28年4月1日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.jp/29/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyouvoCd=2991000015-00&PrefCd=29&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|------------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター | | |
| 所在地 | 〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル | | |
| 訪問調査日 | 平成28年1月25日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

特に力を入れている点は、いつも人に見守られる安心感とゆったりとした時間の中で過ごすことです。家事に関わる日課を大切にしながらも、ご利用者様お一人お一人の時間流れにも、スタッフが寄り添い1つでも個人の自由や選択を大切にサポートする事を心がけています。次に、ご利用者様が楽しみにしてくださる、毎日のお食事です。お客様の状況に合わせ、食べる意欲を持って、1日でも長くご自分で召し上がっていただけるよう、温かく・おいしい食事の提供に力を入れています。
 アピールしたい点は、平屋作りの広々とした建物です。2つあるユニットの行き来は自由で、ご利用者様同士の交流がほぼ毎日あります。外出の機会も散歩だけでなく、スーパーへ買出しや季節ごとにドライブを兼ねたお花見・ピクニックを企画。個別の外出支援としてご家族にも協力頂き、ご自宅への一時帰宅も支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当該ホームは、利用者や家族、職員がコミュニケーションを取りながら、一人ひとりのその人らしい生活を支えるために、「利用者が、したいことや出来る事」を日々のケアの中での気づきを基に意見や提案を行い、話し合い実践に取り組んでいます。利用者の家族より地域の中で昔から行われている靴下作りの仕事を取り入れる事等の提案があり、役割を持って楽しみながら職員と共に作業を行っています。また、食事は美味しく食べられる様にミキサー食などの勉強会を行い食べることを大切に見た目にも配慮した盛り付けを工夫する等職員が一丸となり取り組んでいます。また、地域との関わりを大切に、今年度は認知症の人や家族の思いを知ってもらい、多くの人が関わっている地域づくりを目指し、認知症の人と家族、支援者達で1つのタスキを繋ぎ走るイベントに利用者と参加しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | ホーム内で研修を行い、全職員が意識し実践できるよう心がけている。 | 入職時に法人の理念にこめられた意味や思いを説明し、理念に沿って毎年ホームで実践する目標を作っています。「事業所としての取り組み」として玄関に掲示し意識付けをしています。また、利用者の個別性を考えた支援の中で日々実践し毎月確認を行っています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域のボランティアや保育園との交流は定期的にあります。地域の方から農作物を頂いたり、近隣に住むご友人がホームへ遊びにいらっしやることもあります。 | 回覧板で地域の情報を得てイベントや祭りに参加しています。近隣の保育園との交流は継続され敬老会に招待されたり、園児が散歩でホームの前を通る際には立ち寄り利用者と一緒に楽しい時間を過ごしています。利用者が散歩に出かけた際には近隣の方と挨拶を交わしたり野菜のおすそ分けなどがあります。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 香芝市内の事業所と連携し「認知症サポーター研修」を実施。独自では、共用型の認知症対応型通所介護の指定をより、事業を開始。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 他市町村の地域包括や介護保険課の方の参加も増え、ホームでの取り組みや状況を広く報告する機会が増えました。(毎回資料作成) | 2カ月に1度市町村の介護保険課担当者や地域包括支援センター職員、家族や他のグループホームの管理者の参加により開催しています。ホームでの活動状況や取り組んでいる事、生活の様子等を写真や資料で説明しながら意見交換を行っています。議事録は玄関に置き内容を閲覧できるようにしています。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | ホーム内の様々な変化や変更については、事前に相談・報告を行い、連絡を密にしています。 | 運営推進会議には、市の職員が出席しホームの状況を知ってもらっています。具体的な問題点や制度上の分からない事等も相談しています。またグループホーム連絡協議会には市の担当者の出席があり、意見交換やアドバイスをもらう機会もあり、勉強会などの案内ももらっています。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 「身体拘束」についての研修を実施。正しい情報・知識を学ぶと共に身体拘束をしないケアに取り組んでいます。 | 身体拘束マニュアルを用いて研修を行い、参加できなかった職員も資料で学んでいます。利用者本人の気持ちを大切に声かけを行い、行動を止めることなく職員が連携して見守り、一緒に出掛けることもあります。日々のケアにおいても不適切な対応があれば個別に指導を行い、人権や尊厳についても配慮しています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 「高齢者虐待防止」についての研修を実施。正しい情報・知識を学ぶと共に虐待が見過ごされる事のないよう注意し、防止にも努めています。 | | |

愛の家グループホーム香芝(青空)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 介護保険課担当者より説明は受け資料も保管している。個々の必要性に応じて、活用できるよう橋渡しをしています。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 都度疑問点や質問を確認しながら説明している。理解や同意が得られるまで説明を行っている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 年に1度、ご家族様アンケートを実施。フリーコメントでご要望やアドバイスをいただき改善を図ると共にその後の対応についても、お手紙で周知しています。 | 家族の面会時や電話で些細なことも報告し家族の意見を聞きながら対応を検討しています。利用者の食事の様子が分からないとの意見があり普通食とミキサー食を分かりやすく写真にとり掲示したり、食事の様子を毎月の便りで報告しています。毎年行われるアンケートの結果は玄関に開示しています。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | カンファレンスや全体会議、日々の引継ぎの中で意見や情報を共有し、具体的な対策に活かしている。 | 毎月行われるカンファレンスでは職員間で活発に意見交換が行われています。主にケアや行事についてについての意見が出され、検討し実践に繋げて職員間で共有できるようにしています。悩みを抱えている職員にはリーダーや管理者が個別に意見や思いを聞き職場環境を整えています。また、年に1度法人による職員アンケートを行いホームにフィードバックしています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員個々のアイデアや提案は、全職員で協力し実践につなげるよう努めている。研修の実施も行っている。個々が提供したいケアを考え実践できるようにしている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新人向け研修やホーム内研修を行い、学ぶ機会を設けている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他の事業所と合同で研修を実施やイベントの開催を行っている。 | | |

愛の家グループホーム香芝(青空)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前の事前情報の収集や生活の様子を出来る限り具体的に記録。ご家族様にも協力いただきながらサービス導入時は特に相談・報告を行い、ご本人が少しでも早く馴染めるよう努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族には出来る限り情報を提供いただき、自宅での過ごし方を伺います。ご家族が望まれるサービスの内容を具体的に提案できる話し合いを出来るよう努めています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人はもちろんご家族も含め、環境を整え必要な支援を必要なタイミングで対応できるよう努めている。(医療との連携は特に慎重に行う) | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ご本人がこれまでの生活習慣で養われたものは、出来る限り発揮していただけるよう他の利用者様との関係も含め、職員が配慮している。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族様には、最もご本人を理解される存在として、入居後も相談・報告を心がけ、一緒に支えていただきながらご家族の支援にも努めている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの場所や関係が途切れないよう支援に努めているが一部である。 | 家族以外にも近所の方や以前のサークルでの仲間などの面会があり、リビングや居室等でゆっくり過ごせるように支援を行っています。その際には写真を撮り面会の方にも渡しています。また、地元の食事会への送迎や葬儀に職員が付き添ったり、家族の協力を得て美容院に行く方もおり、馴染みの関係が途切れないように支援をしています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 職員が日々の生活の中で、それぞれの人格に配慮しながら、利用者様同士の関係を支援している。 | | |

愛の家グループホーム香芝(青空)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 日常生活全般において、些細な事でも相談・報告に努め、これまでのサービスの利用においても関係を断ち切らないよう工夫している。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ご家族様にも協力いただき、過去の暮らし方や様子を教えていただき、ご本人の意向に任せる場面を作るよう工夫している。 | 利用者の今までの生活習慣や部屋の様子、生活歴などを家族から聞き取り、今までの暮らしを理解し支援に繋げるために自宅や部屋の様子を写真に撮り情報を整理しています。入居後は日々の様子や利用者の言葉、表情や反応を記載し日々のケアを通して心情を汲み取り、利用者本位の生活支援に向けて職員間で共通認識を持てるよう検討しています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 自宅の様子を見せていただいたり、ご家族にお願いし、情報の提供を書面で頂く等し把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の役割や個別の記録、引継ぎで状態・状況の把握に努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | カンファレンスで現状に即した介護計画か話し合い、ご本人にとってより良いものとなるよう努めている。 | 本人や家族の思い、アセスメントの基に介護計画を作成し、3カ月毎に経過観察や日常動作などをまとめモニタリングや評価を行い個々の計画を確認しています。再アセスメントは6カ月ごとの定期や状況の変化のある利用者はその都度行い見直し一人ひとりの状況に合った計画となるよう取り組んでいます。見直しに当たっては本人や家族、医師、看護師の意見を改めて聞いています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の記録は出来ている、気づきに関する情報を更に量を増やし介護計画に活かせるよう現在取り組んでいる。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご家族に相談し様々な提案をしながら、ご本人にとってより良いサービスの提供が実施できるよう取り組んでいる。多機能を目指している。 | | |

愛の家グループホーム香芝(青空)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域資源を活用しながら、お一人お一人の暮らしを豊かに楽しく過ごしていただくための工夫は行っているが、まだまだ出来ることがある。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご家族に希望を尊重し、往診医と相談しながら早期適切な対応が受けられるよう支援している。 | 入居時に今までのかかりつけ医の継続も可能であることを説明し、継続している方の受診は家族が同行しています。その際にホームでの様子や健康面の経過を書面で情報を提供し、受診結果は家族より報告を受けています。提携医の往診は月に2回あり24時間連絡が取れ、緊急時の往診や相談ができる関係が築かれています。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | カンファレンスや記録で情報の共有、直接申し送るなど、個々の状態に合わせ適切に受診・服薬の指示が得られるよう支援している。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入退院については、個々の状態や経過をご家族様と共有・理解いただきながら医療との連携、フォローに出来る範囲で対応している。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 医療従事者より、事前に起こり得る状況を伝えて頂き、事業所で出来る範囲とご家族に協力頂く部分を話し合っています。書面で明確に説明した(ケアプラン)上で了承の下、全職員で支援に取り組んでいる。 | 入居時に重度化した場合や終末期の対応についてホームでは医療行為ができないこと等を説明しています。利用者の状況に合わせ医師や看護師より説明を行い今後の方向性について家族と話し合いを行い決めていきます。看取りを支援した経験もあり、個々の状況に合わせて看護師より経過と注意事項の研修とアドバイスがあり、利用者の最期をどのように支援出来るかを考え、可能な限り希望に添えるよう支援を行っています。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変や事故発生時の連絡体制、対応については状況に応じ、医療従事者へ指示を仰ぐよう周知している。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回の訓練実施。地域の防災訓練にも参加している。全職員がAEDや消火器の使用について訓練を受けている。 近隣に住むご家族様にも協力要請をお願いしている。 | 消防署の指導の基、昼夜間の火災を設定した訓練を年2回行っています。通報から初期消火、避難誘導も含め利用者も参加し行っています。市の担当者の参加もあり、近隣に住む利用者の家族も何かあれば駆けつけてもらえるような協力体制があります。訓練終了後に救急蘇生やAEDの使い方も学んでいます。 | |

愛の家グループホーム香芝(青空)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個々の人格を知り、プライバシーに配慮した言葉かけを心がけて対応している。 | 入職時には接遇研修を行い、事例等を用いて説明し不適切な対応になった際は原因を探り利用者を尊重した対応ができるようにカンファレンスで話し合い共有しています。また、チェックシートを用い自己評価を行い振り返る機会を設けています。一人ひとりに尊敬の気持ちを持って対応し、排泄時の声掛けには細心の注意を払っています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日常生活の中でご本人へ確認しながら、言葉だけでなく表情や仕草で思いを汲み取れるよう、働きかけるよう配慮している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日に職員同士で話し合い、お一人お一人の様子に合わせ、支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ご本人の使用されていた化粧品や洋服など提供いただき、ご自身で出来る限り準備いただけるよう見守っている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | お一人お一人の好みのメニューで提供を心がけている。ご自分で召し上がって頂けるよう、味・盛り付けにも拘り、楽しみにして頂けるよう工夫している。食後の片づけには参加していただいている。食事支度への関わりが継続できていない。 | 本社の管理栄養士による献立に沿い食材が届き調理担当者と共に下ごしらえや配膳、下膳、洗物等出来ることに携わってもらっています。食事を美味しく取れる様にミキサー食の見た目など様々な工夫をしています。敬老会や誕生日には出前を取ることあり、クリスマスにはバイキング食を提供し利用者が好きなものを選ぶような取り組みも行っています。職員も一緒に食卓を囲み楽しい時間となる様に支援しています。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事・水分量については、個々に記録している。体重の変動やその日の状況 前後の日も含め情報共有しながら支援している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 起床時と毎食後、就寝前にはお一人お一人に合わせた口腔内の清潔保持を行っている。ご家族様にも相談し、歯科医と連携している。 | | |

愛の家グループホーム香芝(青空)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個々の状況に合わせて、一日の中でも状況により使用方法を話し合いながら変更し、個別の支援を行っている。 | トイレでの排泄を基本として、個々の排泄チェックを行い時間やサインを確認しながら、その人に合わせて誘導を行っています。中には時間を決め便座に座ることにより排泄の感覚が戻ってきた事例もあります。日々支援の方法やパットの種類を検討、変更することで、失敗が少なくなり紙パンツから布の下着に変更したり、パッドの使用量が減ったり事例もあります。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 食べ物や飲み物で工夫し、医師・看護師とも連携しながらご家族様にも協力頂き、個々に対応している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | ケアプランにも加え、ご本人の希望やタイミングに合わせて入浴が出来ている。曜日や時間帯もご本人に都度了承いただき実施している。 | 利用者の希望を聞き週に2~3回を目途に入浴を行っています。拒否の方には時間帯を変えたり声のかけ方を工夫しながら入浴できるように支援しています。毎日の入浴や就寝前の入浴にも対応し、入浴剤や好みのシャンプー類を使いゆっくりと入浴が出来る様に工夫をしています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | お一人お一人の状況に合わせて、ケアプランでも全職員が様子観察に努め、 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 医師・看護師・薬剤師の指示の下、状況や薬剤情報の変更がある都度、支援方法や情報の理解に努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 役割として洗濯物や食事作り、掃除にも積極的に関わっていただけよう工夫している。 個々の趣味や楽しみに合わせ、図書館・買い物・畑作業・日曜大工・散歩を支援している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 日常の会話の中やご家族様からのアドバイスも頂きながら個別の外出は実施できている。ご家族様にもご理解いただき、ご本人の希望される場所に出かける機会を心がけている。 | 日々の散歩は日課となっています。重度になっても体調に合わせて散歩やドライブに出かけています。庭では野菜や花を育て世話をしたり、洗濯物を干したり日光浴や外気に触れる機会も多くあります。外出行事も多く初詣や季節の花を見に行き、その際には家族にも声をかけています。また、個別に希望を聞き外出支援も行っています。 | |

愛の家グループホーム香芝(青空)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 外出支援の中で、個人で支払いをお願いしている。散歩の途中でも自販機を使う機会を作っている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご本人の希望に寄り添えるよう、ご家族にも協力いただきながら電話や手紙 写真などでやり取りが出来るよう支援している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関やフロア内には季節や日時が分かる物、一日の状況(天候や・気温)にも注意し、皆様が居心地が良い空間作りに日々努めている。 | 共有空間は清潔が保てるよう心掛け、空気清浄機や加湿器を設置し定期的な換気や温湿度に留意し、季節の飾り付けや利用者が活けた生花も飾られています。ユニット毎で利用者に合わせた環境が整えられ、リビングや畳スペースのコタツ、廊下の端にはベンチがあり、好きな場所で自由に過ごす事が出来る空間を作っています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共有空間の中には、個々が座りやすい椅子やソファの配置、個室を整え工夫している。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居前や入居後も様子をお伝えしながら、ご本人の馴染みや好みに合わせ環境を整えるよう配慮している。 | 居室は明るく使い慣れた筆筒や家具、趣味の道具や自分の作品を持って来てもらい、出来るだけ自宅に近い状態になるように家族と相談しながら配置を考えて利用者の安心につながる様に支援しています。居室の清掃は出来る方には一緒に携わってもらっています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 家具の配置や共有スペースの利用時には、ご本人が過ごしたい形で過ごし生活が送れるよう、状況に合わせて工夫している。 | | |